

平成29年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

岡山県教育委員会

1 目的

この選考試験は、平成29年度の岡山県公立学校（岡山市立学校を除く。）教員の採用候補者の選考資料とするため、岡山県教育委員会が実施する。

2 求める教員像

岡山県の教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる教員

- 本県の教育課題である学力向上や徳育、生徒指導に関する確かな指導力のある人
- 地域の教育資源の活用やキャリア教育により、学ぶ楽しさや学ぶ意味を伝える人

強い使命感と情熱、高い倫理観、豊かな教育的愛情を持った教員

- 本気で子どもたちと関わる中で、教員としての喜びや意義を見いだせる人
- 子ども一人一人の良さを認めて、子どものやる気を引き出すことができる人

多様な経験を積む中で協働して課題解決に当たるなど、生涯にわたって学び続ける教員

- 多様な経験や校内外での研鑽により、専門性やコミュニケーション能力を高める人
- チームの一員として協働して課題解決に当たる力や学び続ける姿勢がある人

3 受験資格

次の各号のいずれにも該当する者

- (1) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者
- (2) 出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状所有者又は平成29年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者
ただし、小学校教諭等（理数枠）を受験する者は、小学校教諭普通免許状所有者で、かつ、中学校理科、高等学校理科、中学校数学又は高等学校数学のいずれかの教諭普通免許状所有者（平成29年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む。）とする。小学校教諭等（英語枠）を受験する者は、小学校教諭普通免許状所有者で、かつ、中学校英語若しくは高等学校英語のいずれかの教諭普通免許状所有者（平成29年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む。）、実用英語技能検定（（公財）日本英語検定協会）2級以上合格者、TOEFL（iBT）57点以上取得者又はTOEIC520点以上取得者（TOEICは公開テストによるスコアのみを対象とし、TOEFLとTOEICについては平成26年7月9日以降に受験したものに限り。）とする。特別支援学校教諭等を受験する者は、特別支援学校教諭普通免許状又は盲・聾・養護学校教諭普通免許状所有者で、かつ、小学校、中学校又は高等学校のいずれかの教諭普通免許状所有者（平成29年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む。）とする。
国語、数学、英語、保健体育、音楽、美術、家庭の教科（科目）で中学校と高等学校の併願を志望する者は、中学校及び高等学校の当該教科（科目）の教諭普通免許状所有者（平成29年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む。）とする。
高等学校の美術は、デザインの教諭普通免許状所有者も出願が可能である。
※ いずれの免許状についても**教員資格認定試験による取得見込みは除く。**
- (3) 昭和32年4月2日以降に生まれた者
- (4) 小学校教諭等（地域枠）、中学校教諭等（地域枠）及び養護教諭（地域枠）を受験する者は、津山市・高梁市・新見市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西栗倉村・久米南町・美咲町で原則として採用後10年以上勤務可能である者とする。
- (5) 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの者は、身体に障害のある者を対象とした選考に出願することができる。

- とすることはできない。
- (7) 小学校教諭等、小学校教諭等（理数枠）、小学校教諭等（英語枠）、小学校教諭等（地域枠）、中学校教諭等、中学校教諭等（地域枠）又は高等学校教諭等の区分で採用候補者となった場合でも、特別支援学校に配属される場合がある。
 - (8) 中学校教諭等又は高等学校教諭等の区分で採用候補者となった場合でも、中等教育学校に配属される場合がある。
 - (9) 将来、人事異動により、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校の間で、異動する場合がある。
 - (10) 高等学校教諭等については、岡山県内の任命権者の異なる市立全日制高等学校に配属される場合がある。

5 出願手続

※ 次の【A】、【B】のいずれか一つを選択すること。

ただし、小学校教諭等（英語枠）及び「**8 特別選考試験**」（P.7）に出願する場合は、【A】を選択すること。

【A】 持参又は郵送による方法

(1) 出願書類の提出先（校種・職種によって提出先が異なるので注意すること。）

校種・職種	提出先
小学校教諭等 小学校教諭等（理数枠） 小学校教諭等（英語枠） 小学校教諭等（地域枠）	〒700-8570 岡山県教育庁教職員課 岡山市北区内山下2-4-6 TEL (086)226-7915、7581、7582
中学校教諭等 中学校教諭等（地域枠）	〒700-0813 岡山教育事務所義務教育支援課 岡山市北区石関町2-1 TEL (086)221-7751
高等学校教諭等 特別支援学校教諭等 養護教諭（地域枠） 栄養教諭	〒700-8570 岡山県教育庁教職員課 岡山市北区内山下2-4-6 TEL (086)226-7915、7581、7582

注意：郵送の場合は、封筒(240mm×332mmの角形2号)の表に「教員採用試験出願書類在中」(には、校種(教科)・職種のいずれかを記入)と**朱書き、簡易書留で郵送すること(厳守)**。
 また、「**8 特別選考試験**」に出願する場合は、「特別選考」と**朱書**すること。

(2) 提出書類等（※印は、本県所定の用紙）

(ア) 受験願書(※)	(イ) 受験登録カード(※)
(ウ) 自己推薦書(※)	(エ) 受験票(※)
(オ) 返信用封筒	長形3号(120mm×235mm)1通(郵便番号、送付先住所、宛名を明記し、「 簡易書留 」と 朱書き、402円分切手を貼ったワンタッチシール封筒 。送付先住所は、8月9日以降に、第1次試験の結果通知を受け取ることが可能な住所とする。)
(カ) 「 身体に障害のある者を対象とした選考 」に出願する者のみ：身体障害者手帳の写し	
(キ) 「 8 特別選考試験 」に出願する者のみ：特別選考調書(※)、証明書等	
(ク) 「 小学校教諭等(英語枠) 」に実用英語技能検定、TOEFL又はTOEICの受験資格で出願する者のみ：実施団体が発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写し。ただし、 写しの提出者は第1次試験の筆記試験時に、原本を持参すること。	
(注) (ア)～(エ)及び(キ)は、岡山県教育庁教職員課のホームページから入手し、印刷したものでも可。なお、 (イ)は、はがきの厚さ程度の紙に印刷すること。	

(3) 受付期間

平成28年5月6日(金)～平成28年5月20日(金)

土・日曜日を除く午前8時30分から午後5時まで

※ 郵送の場合は、平成28年5月20日(金)の消印があるものまで有効

なお、簡易書留で郵送せず郵便事故に遭った場合の責任は負わない。

(4) 受験票の交付

受験票は、平成28年6月15日(水)頃に発送する。

6月24日(金)を過ぎても受験票が届かない場合は、岡山県教育庁教職員課まで連絡すること。

[B] 電子申請(インターネット)による方法

岡山県教育庁教職員課ホームページ (<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/145/>) で、詳しい申込手続を確認して出願すること。

受付期間は、平成28年5月6日(金)～平成28年5月20日(金) 午後5時までとする。

なお、システム管理のため一時的に使用できないことがあるので、注意すること。

※ 電子申請についての問い合わせ先

津山教育事務所義務教育支援課

〒708-8510 津山市田町31

電話(0868)24-8705

6 選考試験の実施日及び会場 (P.31、32参照)

選考試験は、第1次試験及び第2次試験を行う。

受験者が日時の希望や変更をすることはできない。また、第1次試験、第2次試験ともに、受験すべき試験等の一つでも受験しなかった場合は、その後に実施される試験等を受験することはできない。

(1) 第1次試験

第1次試験の試験会場は、受験票交付の際に指定する。また、「5 [B] 電子申請(インターネット)による方法」で出願した場合は、岡山県教育庁教職員課のホームページに受験番号と会場を示すので、**印刷した受験票の※印の欄に各自で記入すること。**

第1次試験における個人面接の日時は、第1次試験の筆記試験会場で掲示する。

※ 岡山県外に**現住所を有し**、小学校教諭等、小学校教諭等(理数枠)、小学校教諭等(英語枠)、小学校教諭等(地域枠)又は特別支援学校教諭等に出願する者は、第1次試験を香川県高松会場を受験することができる。ただし、特別選考Eの出願者として受け付けた者は除く。

月 日	岡山県内会場	香川県高松会場
7月9日(土)	岡山朝日高校 岡山操山高校 西大寺高校	高松テルサ
7月10日(日)		高松テルサ
7月16日(土) 7月17日(日)	岡山大安寺中等教育学校 岡山東商業高校	

(2) 第2次試験

第2次試験の小論文の試験会場は、第2次試験の受験資格を得た者に対し、第1次試験の結果通知の際に指定する。

小論文の試験の後に実施する面接、グループワーク、模擬授業(模擬場面指導)・口頭試問、実技の日程及び会場は、小論文の試験会場で掲示する。

月 日	岡山県内会場
8月20日(土)	岡山工業高校、東岡山工業高校、岡山南高校、 鳥城高校、岡山県生涯学習センター
8月24日(水)	

【注意】

試験会場への自家用車の乗り入れは禁止する。また、試験会場周辺の交通渋滞発生等を避けるため、試験会場周辺への自家用車での送迎は慎むこと。

7 選考試験の日程・内容及び携行品等

(1) 第1次試験

出願者全員（特別選考C又は特別選考Gの出願者として受け付けた者を除く。）が受験する。
身体に障害のある者を対象とした選考においては、障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を行う。

(7) 試験日程・内容

【岡山県内会場】

校種・職種	日 時	7月9日(土) 10:30～14:00	7月16日(土) 9:00～	7月17日(日) 9:00～
小学校教諭等 〔小学校教諭等（理数枠） 小学校教諭等（英語枠） 小学校教諭等（地域枠）〕	教職教養試験 (100点・50分) ※マークシート式で行う。	教科専門試験（注1） (100点・60分) ※記述式で行う。	面接 (個人面接)	※特別選考A①、A②、B、D①、D②、Eの受験者は、個人面接に代わり、特別面接を行う。 ※特別選考Fの受験者は、個人面接を免除する。
中学校教諭等 〔中学校教諭等（地域枠）〕				
高等学校教諭等				
特別支援学校教諭等				
養護教諭 〔養護教諭（地域枠）〕				
栄養教諭	特別支援教育に関する専門試験 (100点・60分) ※記述式で行う。	養護に関する専門試験 (100点・60分) ※記述式で行う。	食育及び学校給食に関する専門試験 (100点・60分) ※記述式で行う。	

【香川県高松会場】

校種・職種	日 時	7月9日(土) 10:30～14:00	7月9日(土) 14:30～	7月10日(日) 9:00～
小学校教諭等 〔小学校教諭等（理数枠） 小学校教諭等（英語枠） 小学校教諭等（地域枠）〕	教職教養試験 (100点・50分) ※マークシート式で行う。	教科専門試験（注1） (100点・60分) ※記述式で行う。	面接 (個人面接)	※特別選考Fの受験者は、個人面接を免除する。
特別支援学校教諭等				

(注1) 小学校教諭等（理数枠）の教科専門試験の総問題数は、小学校教諭等と同程度であるが、理科又は数学（出願時にいずれかを選択）から出題する割合が高い。なお、選択する教科は、当該免許状を所有（平成29年3月31日までに取得見込みを含む。）している教科に限る。
小学校教諭等（英語枠）の教科専門試験の総問題数は、小学校教諭等と同程度であるが、英語から出題する割合が高い。

(4) 試験当日の携行品

対象者	携行品
受験者全員	受験票、筆記用具（マークシート用にHBの鉛筆を含む。）、定規、消しゴム、弁当、上履き、下履きを入れる袋（注2）
小学校（英語枠）の受験者	（該当者のみ）証明書等の原本等 5 [A] ② (ウ) を参照すること。）
小学校（理数枠）の「数学」受験者	定規、コンパス
中学校・高等学校の「数学」受験者	定規、コンパス
中学校の「技術」受験者	三角定規（目盛りの付いたもの一組）、コンパス、分度器
高等学校の「工業〔機械、電気、化学〕」受験者	定規、電卓（関数機能の付いたもの）※ポケットコンピュータ不可
高等学校の「商業」受験者	そろばん又は電卓（計算機能のみのもの）、定規
身体に障害のある者を対象とした選考の受験者	身体障害者手帳
特別選考受験者	（該当者のみ）証明書等の原本等 8 を参照すること。）
電子申請による方法で出願した受験者	返信用封筒 5 [A] ② (オ) を参照すること。）

(注2) 高松テルサが試験会場となった場合、上履き、下履きを入れる袋は不要
※ 上記以外の物は試験で使用することはできない。

(2) 第2次試験

第2次試験の受験資格を得た者が受験する。

身体に障害のある者を対象とした選考においては、障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を行う。

(7) 試験日程・内容

校種・職種	月 日	8月20日(土)	8月21日(日)～8月24日(水)
小 学 校 教 諭 等 〔 小学校教諭等 (理数 枠) 〕 〔 小学校教諭等 (英語 枠) 〕 〔 小学校教諭等 (地域 枠) 〕		小論文 (60分) (字数は800字以内)	グループワーク 個人面接 実 技 (該当者のみ) 模擬授業・口頭試問 ※養護教諭の区分の受験者には、 模擬場面指導・口頭試問を実施する。
中 学 校 教 諭 等 〔 中学校教諭等 (地域 枠) 〕			
高 等 学 校 教 諭 等			
特 別 支 援 学 校 教 諭 等			
養 護 教 諭 〔 養護教諭 (地域 枠) 〕			
栄 養 教 諭			

(4) 実技の対象者・内容

区 分	対 象 者	内 容
体 育	小 学 校 の 受 験 者	ラジオ体操、器械運動、ボール運動
	中学校の「保健体育」受験者	ラジオ体操、陸上競技、器械運動、球技、武道(柔道又は剣道)、ダンス
	高等学校の「保健体育」受験者	ラジオ体操、陸上競技、器械運動、球技、武道(柔道又は剣道)又はダンス
音 楽	小 学 校 の 受 験 者	学習指導要領に示された歌唱共通教材「タやけこやけ」、「ふじ山」、「さくらさくら」、「とんび」、「ふるさと」のうち、当日指定する曲をピアノで弾き歌いする。(各自で楽譜を持参してよい。移調も可。)
	中学校・高等学校の「音楽」受験者	①全訳コールユーブンゲン(第1巻)No.18～No.35(原書番号)のうちから1曲、No.48～No.59(原書番号)のうちから1曲を当日指定する。 ②「荒城の月」、「早春賦」、「夏の思い出」、「花」、「浜辺の歌」のうち、当日指定する歌唱教材をピアノで弾き歌いする。(各自で楽譜を持参してよい。移調も可。) ③アルト・リコーダーによる新曲視奏
美 術	中学校・高等学校の「美術」受験者	デッサン、平面構成
家 庭	中学校・高等学校の「家庭」受験者	被服、食物

(5) 試験当日の携行品

対 象 者	携 行 品
受 験 者 全 員	受験票、筆記用具、定規、消しゴム、弁当、上履き、下履きを入れる袋(注3)
小 学 校 の 受 験 者	体育実技のできる服装及び体育館用シューズ(上履きとは別のもの)
中 学 校 ・ 高 等 学 校 の 「 保 健 体 育 」 受 験 者	体育実技のできる服装、体育館用シューズ(上履きとは別のもの)及び屋外シューズ、柔道着(武道で柔道を選択する者)
中学校・高等学校の「音楽」受験者	アルト・リコーダー
中学校・高等学校の「美術」受験者	水彩絵の具、ポスターカラー、パレット、筆、筆洗、定規、コンパス、はさみ、デッサン用鉛筆、練りゴム又は消しゴム、計り棒(必要とする者のみ)、作業着(必要とする者のみ)、筆ふき用の布
中学校・高等学校の「家庭」受験者	裁縫用具、調理のできる服装

(注3)岡山工業高校、鳥城高校又は県生涯学習センターが試験会場となった場合、上履き、下履きを入れる袋は不要
※ 上記以外の物は試験で使用することはできない。

8 特別選考試験

(1) 受験資格(次の各号のいずれにも該当する者)

- (7) 「**3 受験資格**」を満たす者。ただし、特別選考A②、特別選考Dについては、出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者も出願することができる。
- (4) 各特別選考の出願要件を満たす者。ただし、複数の特別選考に出願することはできない。

(2) 出願手続

5 [A] (2)の(ア)～(オ) (必要に応じて(カ)～(ク))の提出書類等に加えて、各特別選考に係る提出書類を

5 [A] (3)の受付期間に提出すること。

なお、各特別選考に係る提出書類は、「**5 [B] 電子申請(インターネット)による方法**」では受け付けられないので、注意すること。

(3) 審査

書類審査の結果、特別選考の対象となった者には、一部試験の免除等の措置を行う。

また、特別選考の対象にならなかった者は、一般の教員採用候補者選考試験の出願者として受け付ける。(中・高の併願はできない。)

ただし、特別選考A②、特別選考Dで出願した者で、一般の教員採用候補者選考試験の出願者として受け付けることができるのは、出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状所有者又は平成29年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者に限る。

なお、書類審査の結果については、受験票送付の際に通知する。

(4) 特別選考の種別

各特別選考の対象となる校種等や出願要件、提出書類、試験の免除等については、次のとおりとする。

[A①] 特別選考A① [英語の資格による特別選考(グローバル人材)]

校種等	中学校の英語・中学校(地域枠)の英語・高等学校の英語
特別選考出願要件	実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(iBT)100点以上取得者又はTOEIC870点以上取得者(公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成26年7月9日以降に受験したものに限る。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書(5[A](2)の(キ) P.25、26) ・実施団体が発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写し ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参すること。
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。

[A②] 特別選考A② [英語の資格による特別選考(グローバル人材)]

校種等	高等学校の数学・理科(物理、化学、生物)
特別選考出願要件	次の要件を全て満たす者 ① 実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)準1級以上合格者、TOEFL(iBT)80点以上取得者又はTOEIC730点以上取得者(公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成26年7月9日以降に受験したものに限る。 ② 出願する教科(科目)の高等学校教諭普通免許状を有する者(平成29年3月31日までに取得見込みの者を含む。)又は教科に関する専門的な知識・経験又は技能を有する者
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書(5[A](2)の(キ) P.25、26) ・実施団体が発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写し ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参すること。 ・教科に関する専門的な知識・経験又は技能を有していることを証明できるもの
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。

[B] 特別選考B [スポーツの実績による特別選考]

校種等	中学校の保健体育・中学校（地域枠）の保健体育・高等学校の保健体育
特別選考出願要件	平成25年4月1日以降、国際レベルの大会（オリンピック大会、アジア大会等）に日本代表として出場し、8位以上の成績を取った者又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる全国大会においてベスト4以上の成績を取った者。ただし、いずれの場合も団体種目は正選手であった者に限る。
特別選考に係る提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・特別選考調書（5 [A] (2)の(キ) P.25、26） ・大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書（開封無効）（団体種目の場合は正選手であったことを証明できるもの） ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参すること。
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。

[C] 特別選考C [講師経験者を対象とした特別選考]

校種等	全ての校種・職種
特別選考出願要件	<p>次の要件を全て満たす者</p> <p>① 平成28年度（平成27年実施）岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C [講師経験者を対象とした特別選考]又は特別選考G [「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]で受験した者を除く。</p> <p>② 平成28年度、常勤講師等、非常勤講師又は臨時学校栄養職員として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 「常勤講師等」とは、常勤講師、養護助教諭、(注1) <u>実習助手（兼講師の者のみ）</u>、<u>育児短時間勤務のための任期付短時間勤務職員</u>をいう。 ※ 「非常勤講師」は、県費負担の非常勤講師に限る。 ※ 「臨時学校栄養職員」は、平成28年度（平成27年実施）の試験を「栄養教諭」で受験した者に限る。また、「臨時学校栄養職員」は、非常勤の職員を除く。 ※ 「岡山県の公立学校等」とは、県立の中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び市町村（組合）立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校並びに岡山大学教育学部附属の小学校、中学校、特別支援学校をいう。 ※ 「勤務」とは、平成28年4月1日から5 [A] (3)の受付期間の最終日までの間に、勤務実績がある場合をいう。 ※ 特別選考の対象となる校種・職種及び教科（科目）等は、(注2) <u>平成28年度（平成27年実施）試験で受験したものと同一とするが、(注3)平成28年度、常勤講師等又は非常勤講師として勤務している学校の校種・職種及び教科（科目）等は問わない。</u> <p>(注1) 「栄養教諭」出願者については、兼講師でなくてもよいものとする。</p> <p>(注2) 例：地理歴史（世界史）での第1次試験合格者は、地理歴史（世界史）の特別選考の対象となり、地理歴史（日本史）の特別選考の対象とはならない。</p> <p>(注3) 例：中学校教諭等（国語）の特別選考に出願する場合であっても、平成28年度に勤務している学校は、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校のいずれも可とする。</p>
特別選考に係る提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・特別選考調書（5 [A] (2)の(キ) P.25、26） ・平成28年度（平成27年実施）岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写し
試験の免除等	第1次試験を免除する。

[D①] 特別選考D① [社会人を対象とした特別選考]

校種等	高等学校の工業（専門分野は限定しない）
特別選考出願要件	<p>民間企業、官公庁（教職以外）において、出願時に申し出る教科（科目）と関連する3年以上の職務経験を有し、かつ申し出る教科（科目）に関する高度な専門的知識・技能を有する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。
特別選考に係る提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・特別選考調書（5 [A] (2)の(キ) P.25、26） ・申し出る教科（科目）に関する高度な専門的知識・技能を有していることを証明できるもの（証明機関が発行する資格（技能）証明書（開封無効）又は資格（技能）を証明できる書類の写し。ない場合は提出不要。） ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参すること。

試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校工業の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。

【D②】 特別選考D②【社会人を対象とした特別選考】

校種等	高等学校の看護
特別選考出願要件	看護師免許証を有し、かつ看護師、保健師又は助産師（いずれも正規職員）として出願時に3年以上の実務経験を有する者
特別選考に係る提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・特別選考調書（5【A】(2)の(キ) P. 25、26） ・看護師免許証の写し ただし、第1次試験の面接時に、原本を持参すること。
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校看護の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、実務経験を証明する在職証明書を提出すること。

【E】 特別選考E【教職経験者を対象とした特別選考】

校種等	全ての校種・職種
特別選考出願要件	本県の公立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭（いずれも正規教員）として、2年以上の勤務経験（受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。）がある者で、出願時に退職日から10年を経過していない者。
特別選考に係る提出書類	特別選考調書（5【A】(2)の(キ) P. 25、26）
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	特別選考Eの対象となった者は、岡山県内会場で受験する。

【F】 特別選考F【「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考】

校種等	全ての校種・職種
特別選考出願要件	平成27年度に岡山県教育委員会が実施した「教師への道」研修を修了した者。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Fで受験した者は除く。
特別選考に係る提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・特別選考調書（5【A】(2)の(キ) P. 25、26） ・「教師への道」研修の修了証書の写し
試験の免除等	第1次試験において面接試験を免除する。

【G】 特別選考G【「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考】

校種等	小学校・小学校（理数枠）・小学校（地域枠）・中学校の理科・中学校（地域枠）の理科
特別選考出願要件	「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：C S T）養成拠点構築プログラム」を修了した者（平成29年3月31日までに修了見込みの者を含む。）。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Gで受験した者は除く。
特別選考に係る提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・特別選考調書（5【A】(2)の(キ) P. 25、26） ・「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し（修了した者のみ）
試験の免除等	第1次試験を免除する。

9 選考基準等

(1) 第1次試験

(7) 選考の方法

教職教養試験、教科専門試験、特別支援教育に関する専門試験、養護に関する専門試験、食育及び学校給食に関する専門試験、面接並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、次の「(3) 選考に当たって考慮する事項」を踏まえて総合的に選考する。

(4) 主な評価の観点

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」 「誠実さ、社会性、協調性」

○特別面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」 「誠実さ、社会性、協調性」 「専門的力量」

(2) 第2次試験

(7) 選考の方法

グループワーク、個人面接、模擬授業・口頭試問、模擬場面指導・口頭試問、実技、小論文並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、「(3) 選考に当たって考慮する事項」を踏まえて総合的に選考する。

(4) 主な評価の観点

○グループワーク

「コミュニケーション能力」 「社会性、協調性」 「主体性、リーダーシップ」 「問題解決能力」

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」 「誠実さ、社会性、協調性」

○模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問

「児童・生徒の理解」 「教科指導（保健指導）に関する知識・技能の保有」 「使命感、教育的愛情」
「意欲的態度、誠実さ、社会性、協調性」 「発言の明確さ、的確さ」

○実技

（体育） 「技能に対する知識・理解」 「技能の習得の状況」

（音楽） 「音楽の知識・理解」 「表現の技能」

（美術） 「形態、画面構成」 「明暗、配色」 「テーマ性、完成度」

（家庭） 「被服・食物に関する技能」 「材料・用具の扱い方、作業態度」

○小論文

「テーマの把握」 「具体性」 「論旨の妥当性」 「表記・表現」

(3) 選考に当たって考慮する事項

(7) 部活動・ボランティア活動・JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業に参加する等の幅広い経験を有していることを考慮する。

(4) 学校図書館司書教諭の資格を所有（平成29年3月31日までに取得見込みの者を含む。）していることを考慮する。

(9) 高等学校教諭等採用候補者（地理歴史）の選考に当たっては、「公民」の高等学校教諭普通免許状を所有（平成29年3月31日までに取得見込みの者を含む。）していることを考慮する。

(1) 中学校教諭等採用候補者（保健体育）及び高等学校教諭等採用候補者（保健体育）の選考に当たっては、剣道4段以上の段位、又は柔道3段以上の段位を所有していることを考慮する。（所有している場合は、必ず受験願書の特技・資格欄に記載すること。）

(10) 特別支援学校教諭普通免許状を所有（平成29年3月31日までに取得見込みの者を含む。）していることを考慮する。

(11) 小学校教諭等採用候補者の選考に当たっては、中学校教諭普通免許状（外国語（英語））又は高等学校教諭普通免許状（外国語（英語））を所有（平成29年3月31日までに取得見込みの者を含む。）していることを考慮する。

10 選考結果の通知

第1次試験の結果通知 8月9日(火) 午前9時頃	岡山県教育庁教職員課合格発表ページに第2次試験の受験資格を得た者の受験番号を掲載するとともに、第1次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。
第2次試験の結果通知 10月7日(金) 午前9時頃	岡山県教育庁教職員課合格発表ページに採用候補者名簿に登録された者の受験番号を掲載するとともに、第2次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。

- ※ 第1次試験、第2次試験ともに、選考結果に関する問い合わせには一切応じない。
- ※ 結果は簡易書留で送付するので、返信用封筒には確実に郵便物を受け取ることができる住所を記入しておくこと。
- ※ 郵便局による保管期間が過ぎ、岡山県教育庁教職員課へ戻ってきた結果通知については、結果通知日から3か月間保管するので、結果の受取りを希望する者は、その旨を申し出ること。なお、3か月を過ぎたものについては廃棄する。
- ※ 完全受験しなかった受験者にも、返信用封筒が提出されている場合は、結果を簡易書留で送付する。
- ※ ホームページへの受験番号の掲載期間は、結果通知日から10日間とする。
- ※ 岡山県教育庁教職員課合格発表ページ
<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kyosyoku/kyosai/gouhi.html>

11 選考結果の情報提供

時期	対象	内容
第1次試験の結果通知時	第2次試験の受験資格が得られなかった者	教職教養試験、教科専門試験、特別支援教育に関する専門試験、養護に関する専門試験、食育及び学校給食に関する専門試験の得点並びに面接の評価段階
第2次試験の結果通知時	第2次試験の受験者	<ul style="list-style-type: none">・第1次試験の教職教養試験、教科専門試験、特別支援教育に関する専門試験、養護に関する専門試験、食育及び学校給食に関する専門試験の得点並びに面接の評価段階・第2次試験の小論文、グループワーク、個人面接、模擬授業 ・口頭試問、模擬場面指導・口頭試問、実技の評価段階

12 補欠

第2次試験の完全受験者で採用候補者とならなかった者のうち若干名を、補欠として決定し、採用候補者に欠員が生じた場合等には、補欠を採用候補者名簿に登録することがある。

補欠の決定の有無は、第2次試験の結果通知と併せて行い、補欠を採用候補者名簿に登録する場合には、対象者に個別に通知する。なお、補欠の有効期間は、平成29年3月31日までとする。

13 採用候補者の勤務校

採用候補者名簿に登録され、採用された者は、岡山県内の市町村（組合）立（岡山市立を除く。）の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、岡山県立の中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校のいずれかに勤務する。

14 その他

- (1) 採用候補者名簿に登録されても、次のいずれかに該当する場合には、採用候補者名簿から抹消する。
- (7) 平成29年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格を欠いていることが判明した場合
- (4) 教員としてふさわしくない事実が判明した場合
- (ウ) 平成29年4月1日時点で、所有している教諭普通免許状が失効している場合又は修了確認期限までに更新講習の修了確認を受けていない場合

- (2) 日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とする。
- (3) 採用候補者名簿の登録の有効期間は、平成30年3月31日までとする。
- (4) 大学院において修学中であり、すでに教諭普通免許状（受験した校種・職種、教科等のもの）を所有している者で、かつ、平成29年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者が、引き続き大学院での修学を希望する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、平成31年3月31日まで延長する。
- (5) 平成29年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者が、教職大学院へ進学する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、平成32年3月31日まで延長する。
- (6) 補欠として決定され、平成29年3月31日までに、採用候補者名簿に登録されなかった者は、平成29年4月1日から、岡山県の公立学校で常勤講師等として優先的に任用する。
- (7) 他の都道府県の公立学校教員で、本県への転入を希望する者も、この実施要項により受験するものとする。
- (8) 身体等の事情により、受験に際して配慮を必要とする場合には、受験願書及び受験登録カードにその旨を記入する。
- (9) 受験願書と受験登録カードの記入事項は一致させること。一致しない事項がある場合は、受験願書の記入事項を優先する。
- (10) 第2次試験の受験資格を得た者は、最終卒業・修了（見込）学校の成績証明書（開封無効）を提出する。（提出先、提出期間等詳細については、第1次試験の結果通知とともに連絡する。）
- (11) 服装については、第1次試験、第2次試験とも、クールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない。)とする。
- (12) 台風等により、やむを得ず試験日程等を変更する場合は、岡山県教育庁教職員課のホームページで知らせる。
- (13) この試験についての問い合わせ先

岡山県教育庁教職員課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 電話(086)226-7915

提出書類記入上の注意 (5 [A] による場合)

※ 「5 [B] 電子申請 (インターネット) による方法」による出願者は、岡山県教育庁教職員課ホームページの指示に従って、十分に確認しながら申込手続を行うこと。

1 受験願書 (P. 19、20)

- (1) ※印欄は記入しないこと。
- (2) 受験区分欄は、第1志望で出願する校種・職種を○で囲んだ上で、次のとおり、該当するものについて、記入又は○で囲むこと。
 - ・小学校教諭等 (理数枠) の出願者は、理科又は数学のいずれかを選択し、「理」又は「数」のいずれかを○で囲むこと。なお、選択する教科は、当該免許状を所有 (平成29年3月31日までに取得見込みを含む。) している教科に限る。
 - ・中学校教諭等、中学校教諭等 (地域枠) 及び高等学校教諭等の出願者は教科 (科目) を記入すること。ただし、特別選考D①の出願者は教科欄に、「工業 (専門分野)」を記入すること。
 ※ 専門分野の例：機械、情報、建築、土木、化学、デザイン等
 - ・特別選考欄は、特別選考に出願する者のみ、特別選考A①は「A①」、特別選考A②は「A②」、特別選考Bは「B」、特別選考Cは「C」、特別選考D①は「D①」、特別選考D②は「D②」、特別選考Eは「E」、特別選考Fは「F」、特別選考Gは「G」と記入すること。
 - ・身体に障害のある者を対象とした選考欄は、身体に障害のある者を対象とした選考を出願する者のみ○を記入すること。
 - ・第2志望で中学校教諭等又は高等学校教諭等を併願する者は、第1志望とは異なる校種に○を記入し、第1志望と同じ教科 (科目) に○を記入すること。ただし、中学校教諭等 (地域枠) を第1志望とする場合又は特別選考に出願する場合は、併願できない。
- (3) 自署欄は、本人が氏名を自署し、記入年月日も必ず記入すること。
- (4) 年齢欄は、平成29年4月1日現在で記入し、性別欄は、「男」又は「女」を記入すること。
- (5) 第1次試験の会場欄は、岡山県外に現住所を有し、小学校教諭等、小学校教諭等 (理数枠)、小学校教諭等 (英語枠)、小学校教諭等 (地域枠) 又は特別支援学校教諭等を出願する者 (特別選考Eの出願者として受け付けた者は除く。)で、香川県高松会場での受験を希望する者は「高松会場」を○で囲むこと。また、特別選考C、特別選考E及び特別選考Gで、書類審査の結果、特別選考の対象とならなかった場合に、高松会場での受験を希望する者も、「高松会場」を○で囲むこと。
- (6) 国籍欄は、日本国籍を有しない者については、その有する国籍を記入すること。
- (7) 最終学歴欄は、最終卒業・修了 (見込) 学校を記入し、教員免許状取得のための通信教育等は、学歴・職歴・賞罰欄に記入すること。
- (8) 平成29年3月中旬以降の連絡先欄は、3月中旬～4月上旬にかけて確実に連絡可能なところを記入すること。
- (9) 電話欄は、連絡に必要なため、携帯電話等を含め、できるだけ多く記入すること。なお、呼び出しの場合は「〇〇方」等わかるように記入すること。
- (10) 専門分野 (研究事項) 欄は、大学 (大学院) 等における研究事項等を記入すること。さらに、受験教科が国語の者は現代文・古文・漢文、地理歴史の者は世界史・日本史・地理、理科の者は物理・化学・生物・地学、家庭の者は被服・食物の中から、それぞれ得意な順に列記すること。
- (11) 教員免許状欄は、所有又は取得見込みの免許状について全て記入すること。校種等欄は、小・中・高・特・養護教諭・栄養教諭・盲・聾・養護学校の別を、種類欄は、専修・1種・2種の別を記入すること。(区分欄は、該当するものを○で囲むこと。)
- (12) 特技・資格欄は、特に秀でたもののみ記入すること。例えば、柔道3段、英検1級、日商簿記1級のように記入すること。また、特別支援学校教諭等の出願者は、例えば、特1種 (知・肢・病) のように、特別支援学校教諭免許状の領域を記入すること。
- (13) 司書教諭資格の有無欄は、該当するものを必ず○で囲むこと。(取得見込については、平成29年3月31日までに取得見込の場合のみ○をつけること。)
- (14) 教員免許状修了確認 (有効) 期限欄は、取得見込みの場合は空欄でよい。
- (15) 受験上の配慮事項欄は、身体等の事情により、受験に際して特に配慮を希望する場合に記入すること。
- (16) 学歴・職歴・賞罰欄は、高等学校 (中等教育学校) 卒業以後、日付順にもれなく記入すること。職歴については、次の例にならって、簡略に記入すること。記入欄が不足する場合は、裏面に記入すること。(在学中のアルバイトについての記入は不要)

年	月	日	学歴・職歴・賞罰
20	4	1	岡山県立◇◇高等学校常勤講師 (H21. 3. 30まで)

年	月	日	学歴・職歴・賞罰
21	5	1	◇◇株式会社事務職員 (正規社員 H22. 2. 28まで)

- (17) 個人情報の利用についての確認欄は、岡山県公立学校での臨時的任用職員及び非常勤講師を希望し、受験願書に記載した個人情報の利用に同意する場合は、「同意する」を○で囲むこと。

2 受験登録カード (P.21) (P.16「受験登録カード(記入例)」を参照すること)

(1) 「2 受験校種・職種、教科等の区分」は、次のコード表により記入すること。

校種・職種	小学校	小学校 (地域枠)	中学校	中学校 (地域枠)	高等学校	特別支援	養護教諭	養護教諭 (地域枠)	栄養教諭
コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9

教科等の区分	コード	教科等の区分	コード	教科等の区分	コード
小学校	10	中学校 英語	29	高等学校 家庭	42
小学校 (理数枠) 理科	11	高等学校 国語	30	高等学校 農業	43
小学校 (理数枠) 数学	12	高等学校 地理歴史[世界史]	31	高等学校 工業[機械]	44
小学校 (英語枠)	13	高等学校 地理歴史[日本史]	32	高等学校 工業[電気]	45
中学校 国語	20	高等学校 地理歴史[地理]	33	高等学校 工業[化学]	46
中学校 社会	21	高等学校 数学	34	高等学校 工業 ※特別選考D①	47
中学校 数学	22	高等学校 理科[物理]	35	高等学校 商業	48
中学校 理科	23	高等学校 理科[化学]	36	高等学校 情報	49
中学校 音楽	24	高等学校 理科[生物]	37	高等学校 看護	50
中学校 美術	25	高等学校 保健体育	38	特別支援学校	60
中学校 保健体育	26	高等学校 芸術[音楽]	39	養護教諭	70
中学校 技術	27	高等学校 芸術[美術]	40	栄養教諭	80
中学校 家庭	28	高等学校 英語	41		

※小学校(地域枠)の出願者はコードの10を、養護教諭(地域枠)の出願者はコードの70を、中学校(地域枠)の出願者はコード20～29のうちから該当するものを一つ、それぞれ記入すること。

(2) 「3 障害者選考」は、身体に障害のある者を対象とした選考を受験する場合のみ「1」を記入すること。

(3) 「4 特別選考」は、特別選考に出願する者のみ次のコード表により記入すること。

[A①]英語の資格:英語	1	[A②]英語の資格:理数	2	[B]スポーツの実績	3	[C]講師経験者	4
[D①]社会人:工業	5	[D②]社会人:看護	6	[E]教職経験者	7	[F]「教師への道」修了者	8
[G]「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者	9						

(4) 「5 中・高の併願」は、中学校教諭等の出願者で高等学校教諭等を志望する場合は「1」を、高等学校教諭等の出願者で中学校教諭等を志望する場合は「2」を記入すること。

(5) 「6 受験上の配慮事項」は、配慮が必要な場合のみ「1」を記入すること。

(6) 「7 氏名」は、漢字で名前を記入し、姓と名の間は1字空けること。氏名のフリガナは、カタカナで記入し、濁点、半濁点は、1字とみなす。氏名のフリガナの姓と名の間は1字空けること。左端から記入すること。

(7) 「8 性別」は、男性は「1」を、女性は「2」を記入すること。

(8) 「9 生年月日」は、全て2桁の数字で記入すること。

(9) 「10 第1次試験の会場」は、岡山県外に現住所を有する、小学校教諭等、小学校教諭等(理数枠)、小学校教諭等(英語枠)、小学校教諭等(地域枠)及び特別支援学校教諭等の出願者で、香川県高松会場を希望する場合は「1」を記入すること。

(10) 「11 最終学歴」は、学校の名称を記入例にならって先頭から10文字分記入すること。

「学校コード」は次の**学校コード表**により、それぞれ左端から記入すること。

「卒業・修了(見込)年月」の年月は、全て2桁の数字として、年号は、昭和は「1」を、平成は「2」を記入すること。

学校コード表

国公立	コード	大学・短大・大学院等	コード	学部(4年制大学のみ記入)	コード
国立	1	4年制大学	1	国立の教員養成系教育学部 (教員養成課程のある学部)	1
公立	2	短期大学	2		
私立	3	大学院	3	その他の教育学部	2
		教職大学院	4	一般学部	3
		指定教員養成機関	5		
		その他	6		

参考：国立の教員養成系教育学部

北海道教育大学教育学部	弘前大学教育学部	岩手大学教育学部	宮城教育大学教育学部
秋田大学教育文化学部	茨城大学教育学部	宇都宮大学教育学部	群馬大学教育学部
埼玉大学教育学部	千葉大学教育学部	東京学芸大学教育学部	横浜国立大学教育人間科学部
新潟大学教育学部	上越教育大学学校教育学部	金沢大学学校教育学類	福井大学教育地域科学部
山梨大学教育人間科学部	信州大学教育学部	岐阜大学教育学部	静岡大学教育学部
愛知教育大学教員養成課程	三重大学教育学部	滋賀大学教育学部	京都教育大学教育学部
大阪教育大学教員養成課程	兵庫教育大学学校教育学部	奈良教育大学教育学部	和歌山大学教育学部
島根大学教育学部	岡山大学教育学部	広島大学教育学部	山口大学教育学部
鳴門教育大学学校教育学部	香川大学教育学部	愛媛大学教育学部	高知大学教育学部
福岡教育大学教育学部	佐賀大学文化教育学部	長崎大学教育学部	熊本大学教育学部
大分大学教育福祉科学部	宮崎大学教育文化学部	鹿児島大学教育学部	琉球大学教育学部

(11) 「12 所有（取得見込）免許状」は、受験に必要な主たる免許状を一つ(1)に記入すること。ただし、小学校教諭等（理数枠）の出願者は、中学校理科、高等学校理科、中学校数学又は高等学校数学のいずれかの免許状を一つ(2)に記入すること。小学校教諭等（英語枠）の出願者のうち、中学校英語又は高等学校英語の免許状所有者はいずれかの免許状を一つ(2)に記入すること。特別支援学校の出願者は、基礎となる小学校、中学校又は高等学校のいずれかの免許状を一つ(2)に記入すること。中・高を併願する場合は、第2志望の受験に必要な主たる免許状を一つ(2)に記入すること。

「校種・職種」、「種類」、「教科等」及び「取得」は、次のコード表から記入すること。

校種・職種	コード	校種・職種	コード
小学校	1	栄養教諭	6
中学校	2	盲学校	7
高等学校	3	聾学校	8
特別支援学校	4	養護学校	9
養護教諭	5		

種類	コード
1種	1
2種	2
専修	3

取得	コード
所有	1
取得見込	2

教科等	コード	教科等	コード	教科等	コード	教科等	コード	教科等	コード
小学校	01	理科	06	技術	11	商業	16	福祉	21
養護教諭	02	音楽	07	家庭	12	外国語(英語)	17	保健	22
国語	03	美術	08	情報	13	地理歴史	18	公民	23
社会	04	保健体育	09	農業	14	書道	19	栄養教諭	24
数学	05	看護	10	工業	15	デザイン	20		

(12) 「13 教員免許状修了確認（有効）期限」は、全て2桁の数字で記入すること。なお、取得見込みの場合は、空欄にしておくこと。

(13) 「14 現住所 ①郵便番号 ②電話番号」は、左端から記入すること。

(14) 「15 現職種」は、次のコード表から記入すること。

職種	コード	職種	コード
本県公立学校の正規職員	01	私立学校の職員	07
他県公立学校の正規職員	02	学校勤務以外の正規職員（経験3年以上）	08
本県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	03	学校勤務以外の正規職員（経験3年未満）	09
他県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	04	新規学卒者（新規の院卒も含む。）	10
本県公立学校の非常勤職員	05	大学院1年生	11
他県公立学校の非常勤職員	06	その他	12

(15) 「16 現勤務先」は、現勤務先の名称（略称可）を記入例にならって先頭から8文字分記入すること。

(16) 「17 経験職種」は、次のコード表から記入すること。経験職種が複数ある場合は、現職種も含め、直近のものから順に(1)から(3)に3つまで記入すること。

職種	コード	職種	コード
本県公立学校の正規職員	01	私立学校の職員	07
他県公立学校の正規職員	02	学校勤務以外の正規職員（経験3年以上）	08
本県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	03	学校勤務以外の正規職員（経験3年未満）	09
他県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	04	その他	10
本県公立学校の非常勤職員	05		
他県公立学校の非常勤職員	06		

(17) 「18 司書教諭」は、次のコードにより記入すること。

資格あり	1	取得見込	2	資格なし	3

受験登録カード(記入例)

1 受験番号
(記入しない)

1	2	3	4

2 受験校種・職種、教科等の区分

校種・職種、教科等の区分			校種 職種	教科等 の区分	
高校 地歴 (世界史)			5	6	7
			5	3	1

省略した書き方でよい。

3 障害者選考 4 特別選考

8	9

身体に障害のある者を対象とした選考で受験する場合のみ「1」記入

特別選考で受験する場合のみ記入

5 中・高の併願

10

中学校、高等学校の出願者で、併願を志望する者のみ必ず記入

6 受験上の配慮事項

11

配慮が必要な場合のみ「1」記入

7 氏名

氏 名 (漢字)															
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
岡	山					次	郎								

氏名のフリガナ (カタカナ)

28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
オ	カ	ヤ	マ			シ				ロ	ウ						

8 性別

46
1

9 生年月日

(昭和) (平成) 年		月		日	
47	48	49	50	51	52
6	3	1	0	0	4

10 第1次試験の会場

53

岡山県外に現住所を有する小学校、小学校(理数枠)、小学校(英語枠)、小学校(地域枠)及び特別支援学校の出願者で、香川県高松会場を希望する者のみ必ず記入

「大学・短大・大学院等」から該当するものを選ぶ。

「昭和63年10月4日生まれの例」全て2桁の数字で表す。

11 最終学歴

「学校法人△△学園」等は省略する

学 校 名														学校コード		卒業・修了(見込)年月				
○ ○ ○ 大 学														国 公 私	大 短 院 別	学 部	年 号	年	月	
54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	
○	○	○				大	学													
74	75	76	77	78	79	80	81													
3	1	2	2	2	3	0	3													

12 所有(取得見込)免許状

免許状	(1) 高1種地歴				(2)※					
コード	校種 職種	種類	教科等	取得	校種 職種	種類	教科等	取得	取得	
	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91
	3	1	1	8	1					

省略した書き方でよい。

複数ある場合は連絡の
とりのやすい方を記入
「携帯090-○○○○
-△△△△の例」

13 教員免許状修了確認(有効)期限

(平成) 年	月		日		
92	93	94	95	96	97
3	3	0	3	3	1

取得見込みの場合
は空欄でよい。

14 現住所

①郵便番号

98	99	100	101	102	103	104
7	0	0	0	8	2	4

②電話番号(携帯の場合は最初の0を省略)

105	106	107	108	109	110	111	112	113	114
9	0	○	○	○	○	△	△	△	△

現職種も含め、直
近のものから順に
(1)から(3)に3つま
で記入する。新規
学卒者等で経験
職種がない場合
は記入しない。短
期のアルバイト等
は記入しない。

15 現職種

115	116
0	3

16 現勤務先

非常勤講師で兼務している場合、「週当たり時間数の最も多い学校外○校」と記入する。(例)「○○高校外2校」

117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132
○	○	○	○			高	校								

17 経験職種

(1)	(2)	(3)			
133	134	135	136	137	138
0	3				

18 司書教諭

139
3

「提出書類記入上の注意」及び「受験登録カード(記入例)」(P.13~16)をよく読んで記入すること。

3 自己推薦書 (P.23)

- (1) ※印欄以外の箇所に記入又は当該項目を○で囲むこと。
- (2) 校種・職種等欄は、該当するものを○で囲むこと。
- (3) 記入欄は、各項目ごとに簡潔な文章で記入すること。
- (4) ICTを活用する能力及び英語力欄は、該当するものを○で囲むこと。

4 受験票 (P.17、18)

「きりとりせん」に沿ってはがき大に切ること。また、**ホームページから入手し、印刷する場合は、はがきの厚さ程度の紙に印刷すること。**

- (1) 裏面について
 - (7) ※印欄以外の箇所に記入又は当該項目を○で囲むこと。
 - (4) 校種・職種等欄は、該当するものを○で囲むこと。
 - (5) 教科(科目)欄は、受験願書の受験区分で記入した教科(科目)と同じものを記入すること。

小学校教諭等(理数枠)の出願者は、受験願書の受験区分で○を囲んだ教科と同じものを記入すること。

小学校教諭等、小学校教諭等(英語枠)、小学校教諭等(地域枠)、特別支援学校教諭等、養護教諭、養護教諭(地域枠)及び栄養教諭を受験する出願者は、記入する必要はない。

- (1) **出願の際には受験票に写真を貼らないこと。**

(受験票の交付を受けた後に、受験願書に貼った写真と同じものを必ず貼り、試験当日持参すること。)

- (2) 表面について

出願の際には、住所、氏名を明記し、**必ず52円分切手を貼る**こと。

きりとりせん

平成29年度岡山県公立学校
教員採用候補者選考試験
受験票
(第1次・第2次共通)

氏名	氏名		校種・職種等	小・小(理数)・小(英語)・小(地域)・中・中(地域)・高・特・養・養(地域)・栄	教科(科目)	※特別選考()
	日時	会場	※身体に障害のある者を対象とした選考()			
第1次試験	日時	会場	※			
第2次試験	日時	会場	平成28年8月20日 9:15集合			

受験番号	※
1	出願時 は 写真 を 貼 ら な い
2	試験当日 は 願書に貼った ものと同じ 写真 を 貼 っ て 持 参

- 【受験上の注意】
- 1 試験場には必ず本票を持参すること。
(第2次試験にも本票を使用するので、第1次試験終了後も紛失しないこと。)
 - 2 第1次試験の個人面接の日時・会場は、第1次試験の第1日目に掲示する。
 - 3 試験場への自家用車の乗り入れは禁止する。
 - 4 試験場は禁煙とする。

あふりせん

52円分切手を
貼ること

郵便はがき



(住所)

(同居先)

方

(氏名)

殿

平成29年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験受験願書

受験番号 ※

(該当箇所を記入又は○で囲むこと) 受験区分	校種 職種	教科 (科目)	特別選考	自署欄								
	小		身体に障害のある者を対象とした選考	この願書の記載事項は真実であり、学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当していません。								
	小(理数枠)	理・数		(記入年月日) 平成28年 月 日								
	小(英語枠)		校種 中・高	氏名 (本人自署)								
	小(地域枠)			氏名のフリガナ								
	中			第2志望 教科(科目) 国語 数学 音楽 芸術[音楽] 美術 芸術[美術] 保健体育 家庭 英語	生年月日	昭和 平成	年	月	日生	年齢	歳	性別
	中(地域枠)				第1次試験の会場		高松会場		国籍	(日本国籍以外の者は、国籍を記入する)		
	高											
	特											
	養											
養(地域枠)												
栄												
最終学歴	大学・大学院			学部・研究科・養成所	科・課程	専攻	昭和 平成	卒業・卒業見込 年月	卒業見込 修了・修了見込			
現住所	〒 -						写真欄					
電話() - () -							1. 写真は5cm×4cmで3か月以内に撮影した脱帽、正面、上半身のものを貼ること。 2. 受験票の交付後、受験票にも同じ写真を貼ること。					
平成29年3月中旬以降の連絡先	〒 -											
電話() - () -												
専門分野(研究事項)												
部活動等	中学校		高等学校		大学		指導できる部活動					
教員免許状	校種等	種類	教科	区分	特技・資格							
				所有・取得見込								
				所有・取得見込								
				所有・取得見込		司書教諭資格の有無	有・取得見込・無					
				所有・取得見込		教員免許状修了確認(有効)期限	平成 年 月 日					
				所有・取得見込		受験上の配慮事項						
			所有・取得見込									
年 月 日	学歴・職歴・賞罰				年 月 日	学歴・職歴・賞罰						
	高等学校(中等教育学校) 卒業											
岡山県教育委員会が岡山県公立学校での臨時的任用職員及び非常勤講師の登録を依頼するために、受験願書に記載した個人情報を利用することについて												
同意する ・ 同意しない												

「提出書類記入上の注意」(P.13)をよく読んで記入すること。

受験登録カード

1 受験番号
(記入しない)

1	2	3	4

2 受験校種・職種、教科等の区分

校種・職種、教科等の区分			校種 職種	教科等 の区分	
			5	6	7

3 障害者選考 4 特別選考

8	9

5 中・高の
併願

10

6 受験上の
配慮事項

11

7 氏名

氏名(漢字)															
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27

氏名のフリガナ (カタカナ)

28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45

8 性別

46

9 生年月日

(昭和) (平成) 年	月	日			
47	48	49	50	51	52

10 第1次試験の会場

53

11 最終学歴

学 校 名														学校コード			卒業・修了(見込)年月													
														国 公 私	大 短 院 別	学 部	年 号	年	月											
														54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70

12 所有(取得見込)免許状

免許状	(1)					(2)※				
コード	校種 職種	種類	教科等		取得	校種 職種	種類	教科等		取得
	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91

※小学校(理数枠)、小学校(英語枠)、特別支援学校の区分で受験する場合又は中・高を併願する場合は、(2)に記入

13 教員免許状修了確認(有効)期限

(平成) 年	月	日			
92	93	94	95	96	97

14 現住所

①郵便番号

98	99	100	101	102	103	104

②電話番号(携帯の場合は最初の0を省略)

105	106	107	108	109	110	111	112	113	114

15 現職種

115	116

16 現勤務先

117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132

17 経験職種

(1)	(2)	(3)			
133	134	135	136	137	138

18 司書教諭

139

「提出書類記入上の注意」及び「受験登録カード(記入例)」(P.13~16)をよく読んで記入すること。

**平成29年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験
自己推薦書**

受験番号	※
------	---

校種・職種等 (1つを○で囲む)	小・小(理数)・小(英語) 小(地域)・中・中(地域)・高 特・養・養(地域)・栄	フリガナ 氏名	
---------------------	---	------------	--

項目	記入欄
自己アピール (自分の個性や長所、これまでの民間企業や講師としての勤務実績等をアピールする。)	
専門の教科や領域に関して努力していること	
部活動・ボランティア活動・JICAボランティア事業への参加等の内容や実績 (出場大会名、団体内での役割等)	
特技や資格等 (数字等で示しながら具体的に記入する。)	

ICTを活用する能力について、該当するものを○で囲む。

① インターネットを活用して教材や資料を集めることができるか。	(できる・できない)
② ワードソフトや表計算ソフトなどを活用して文書や資料等を作成することができるか。	(できる・できない)
③ プレゼンテーションソフトや教材提示装置などを活用して資料をわかりやすく説明することができるか。	(できる・できない)

英語力について、該当するものを○で囲む。

① 英語で日常的なあいさつを交わすことができるか。	(できる・できない)
② 英語での日常的な会話の中で、自分の考えを述べることができるか。	(できる・できない)
③ 英語で討論ができるなど、相手と意思の疎通を支障なく図ることができるか。	(できる・できない)

(記入上の注意)

- 1 ※印欄は記入しないこと。
- 2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例) 特別選考A①の場合は、「A①」と記入
- 3 I・II欄、【所属長の推薦】欄及び【大学担当者の証明】欄について
 - (1) 特別選考A①[英語の資格による特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。
 - II 留学歴(海外の大学・大学院等への留学歴)など、英語に関してその他特記すべき事項を記入すること。
 - (2) 特別選考A②[英語の資格による特別選考(高等学校の数学・理科(物理、化学、生物))]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。
 - II 留学歴(海外の大学・大学院等への留学歴)など、英語に関してその他特記すべき事項を記入すること。
また、出願する校種・職種、教科(科目)に関する免許状を有しない場合は、出願する校種・職種、教科(科目)に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。
 - (3) 特別選考B[スポーツの実績による特別選考(中学校・高等学校の保健体育)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす大会名(開催年月)、成績を記入すること。
 - II 専門競技種目名、所属チーム名、資格(スポーツに関する資格(日体協公認資格等))、大学入学以降の主な競技歴(国際レベルの大会又は全国レベルの大会について、その大会名、成績、役職、ポジション、その他特記事項)を記入すること。
 - (4) 特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]の場合
 - I 平成26年度から平成28年度(出願時)までの勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び任用種別(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員、臨時学校栄養職員、非常勤講師)を記入すること。
 - II 何も記入しないこと。

【所属長の推薦】 現在の勤務校又は平成28年4月1日から**5[A](3)**の受付期間の最終日(5月20日)までの間に所属した直近の勤務校の所属長が作成したものを提出すること。
 - (5) 特別選考D①[社会人を対象とした特別選考(高等学校の工業)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における出願する教科(工業)に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。
 - II 出願する校種・職種、教科(工業)に関する免許状を有しない場合は、出願する校種・職種、教科(工業)に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。
 - (6) 特別選考D②[社会人を対象とした特別選考(高等学校の看護)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)としての勤務歴について、勤務先及び在職期間(年月日)を記入すること。
 - II 出願する校種・職種、教科(看護)に関する免許状を有しない場合は、出願する校種・職種、教科(看護)に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。
 - (7) 特別選考E[教職経験者を対象とした特別選考]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、本県の公立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。なお、現に県外の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)の職にある者については、現任校も含めて、記入すること。
 - II 何も記入しないこと。
 - (8) 特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]の場合
 - I 何も記入しないこと。
 - II 「教師への道」研修で学んだことや感想を記入すること。
 - (9) 特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラムの履修大学名、履修(予定)期間を記入すること。
 - II 何も記入しないこと。

【大学担当者の証明】 出願時に修了見込みの者は、現在履修中の大学担当者が作成したものを提出すること。

お答えします あなたの質問

(岡山県の公立学校教員をめざす人へ)

質問1 昨年の受験者や採用者の数はどれくらいでしたか。

- 平成28年度(平成27年実施)と平成27年度(平成26年実施)の採用試験結果を紹介しますので、参考にしてください。

[参考] 平成28年度(平成27年実施)採用試験結果について

	小学校	うち 小学校 (理数)	うち 小学校 (英語)	中学校	高等学校	特別支援 学校	養護教諭	栄養教諭	合計	身体に障害 のある者を 対象とした 選考
1次受験者数 (A)	1,141 (1,259)	49 (73)	33 (-)	1,035 (1,080)	861 (932)	181 (216)	211 (227)	68 (96)	3,497 (3,810)	4 (5)
1次合格者数 (B)	550 (554)	33 (46)	17 (-)	341 (308)	175 (213)	82 (102)	70 (82)	12 (12)	1,230 (1,271)	1 (3)
1次倍率 (A÷B)		2.1 (2.3)		3.0 (3.5)	4.9 (4.4)	2.2 (2.1)	3.0 (2.8)	5.7 (8.0)	2.8 (3.0)	- (-)
採用候補者数 (C)	205 95 (300)	10 4 (32)	6 4 (-)	119 51 (155)	70 - (100)	40 - (50)	29 6 (40)	3 2 (5)	466 154 (650)	1 0 (3)
倍率 (A÷C)		3.8 (4.2)		6.1 (7.0)	12.3 (9.3)	4.5 (4.3)	6.0 (5.7)	13.6 (19.2)	5.6 (5.9)	- (-)

※ ()内は平成27年度(平成26年実施)の数。平成28年度(平成27年実施)までは、岡山県・岡山市の共同実施。(特別選考を含む。)

質問2 「補欠」について教えてください。

- 補欠は、第2次選考において決定します。ただし、教科(科目)等の区分によっては、補欠を決定しない場合もあります。
- 採用候補者(採用候補者名簿に登録された者)が採用を辞退した場合などに、補欠と決定した方を、採用候補者名簿に追加登録する場合があります。
- 補欠と決定した方を、平成29年3月31日までに採用候補者名簿に追加登録しなかった場合には、平成29年4月1日から、常勤講師等として優先的に任用します。

質問3 試験問題は公開していますか。

- 第1次試験については、平成28年7月19日(火)から、岡山県教育庁教職員課において、筆記試験の問題、解答例・配点を公開(一般閲覧)します。
- 第2次試験については、平成28年8月25日(木)から、岡山県教育庁教職員課において、グループワークのテーマ、小論文試験の問題、実技試験の問題(問題用紙があるもののみ)を公開(一般閲覧)します。
- 岡山県教育庁教職員課では、過去の試験問題等(3年間分)を公開(一般閲覧)しています。

質問4 給料、手当はどのようになっていますか。

- 平成28年4月1日現在の給料は、次のとおりです。

	給料月額
大学新卒（教諭採用）	219,648円 （教職調整額8,448円を含む。）

- このほか、勤務内容等によって次の諸手当の制度が設けられています。
- (1) 教員特別手当、扶養手当、産業教育手当、定通手当、通勤手当、へき地手当、期末・勤勉手当、住居手当等
 - (2) 特別支援学校教員や特別支援学級担当教員には、給料の調整額が別途支給されます。

質問5 試験の日程や会場はいつ分かりますか。

- 第1次試験の筆記試験の会場及び特別面接の会場・集合時刻は、受験票交付の際に指定します。
- 第1次試験における個人面接の日時は、第1次試験の筆記試験会場で掲示します。
- 第2次試験の小論文の試験会場は、第1次試験の結果通知の際に指定します。
- 第2次試験の日程や会場は、第2次試験の小論文の試験会場で掲示します。
- ※ 試験の日程や会場の変更には、一切応じることができません。

質問6 第2次試験のグループワークについて教えてください。

- グループワークでは、当日提示された課題に対して、受験者数名のグループで協力して解決する過程を通して、コミュニケーション能力、社会性、協調性、主体性、リーダーシップ、問題解決能力などを評価します。

質問7 「小学校教諭等（理数枠）」の区分について教えてください。

- 小学校教諭等（理数枠）は、小学校における理数教育の充実を図るために募集するものですが、理科、算数のみを担当する教員として採用するものではありません。
- 出願時に理科又は数学のいずれかを選択しますが、免許状を所有（平成29年3月31日までに取得見込みの者を含む。）している教科に限ります。なお、理科、数学の両方を所有している場合は、どちらを選択してもかまいません。
- 小学校教諭等（理数枠）の教科専門試験は、総問題数は小学校教諭等と同程度ですが、理科又は数学（出願時に選択した教科）から出題される割合が高くなります。
- 小学校教諭等（理数枠）の採用候補者見込数は、35名（小学校教諭等の採用候補者見込数210名の内数）を上限としますが、「小学校教諭等（理数枠）」の採用候補者にならなかった場合でも、「小学校教諭等」の中で更に選考し、採用候補者となる場合があります。

質問8 「小学校教諭等（英語枠）」の区分について教えてください。

- 小学校教諭等（英語枠）は、小学校における英語教育の充実を図るために募集するものですが、英語のみを担当する教員として採用するものではありません。
- 小学校教諭等（英語枠）の教科専門試験は、総問題数は小学校教諭等と同程度ですが、英語から出題される割合が高くなります。

- 小学校教諭等（英語枠）の採用候補者見込数は、20名（小学校教諭等の採用候補者見込数210名の内数）を上限としますが、「小学校教諭等（英語枠）」の採用候補者にならなかった場合でも、「小学校教諭等」の中で更に選考し、採用候補者となる場合があります。

質問9 地域枠について教えてください。

- 小学校教諭等（地域枠）、中学校教諭等（地域枠）又は養護教諭（地域枠）の採用候補者見込数は、それぞれ小学校教諭等（地域枠）25名、中学校教諭等（地域枠）15名、養護教諭（地域枠）2名を上限とします。
- 小学校教諭等（地域枠）、中学校教諭等（地域枠）又は養護教諭（地域枠）の区分で採用候補者にならなかった場合でも、小学校教諭等、中学校教諭等又は養護教諭の区分の中で更に選考し、採用候補者となる場合があります。
- 中学校教諭等（地域枠）を第1希望とした場合には、高等学校教諭等を第2希望とすることができません。また、高等学校教諭等を第1希望とした場合には、中学校教諭等（地域枠）を第2希望とすることができません。

質問10 中学校と高等学校の併願について教えてください。

- 国語、数学、英語、保健体育、音楽、美術、家庭の教科（科目）の区分についてのみ、中学校教諭等と高等学校教諭等を併願することができます。
- 中学校教諭等（地域枠）を第1希望とする場合又は「**8**特別選考試験」に出願する場合は、併願することはできません。また、中学校教諭等（地域枠）を第2希望とすることはできません。
- 併願で出願した場合で、第2次試験の受験資格を得た方には、第1次試験の結果通知時に、第1志望又は第2志望のいずれの校種で第2次試験の受験資格を得たのかをお知らせします。

質問11 平成29年3月31日に免許状の修了確認期限を迎えますが、更新講習を受けていなくても出願できますか。

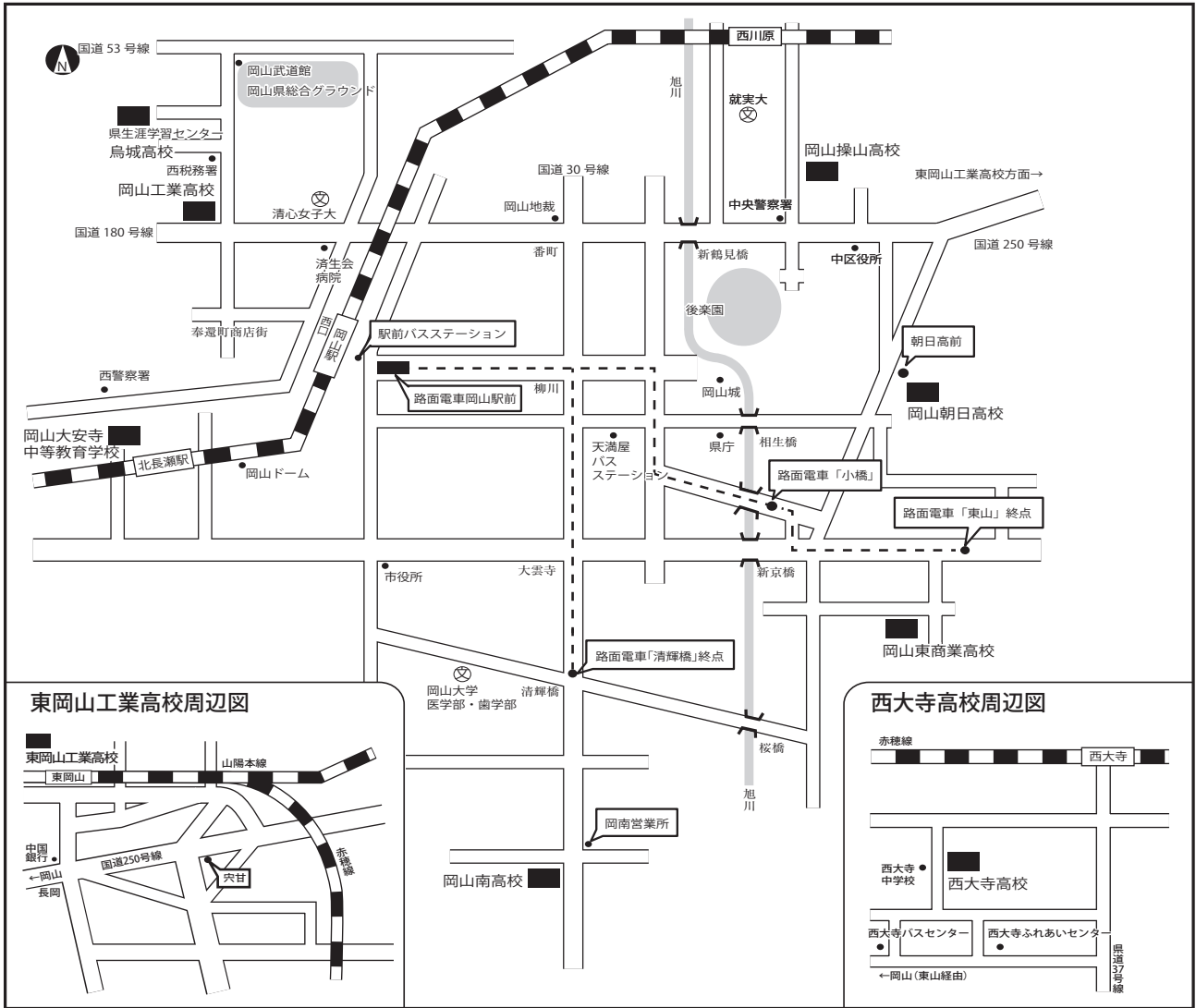
- 更新講習を受けていなくても出願はできますが、平成29年4月1日以降、教壇に立つためには、30時間以上の更新講習を受講し、平成29年1月31日までに所定の都道府県教育委員会に修了確認申請を行う必要があります。修了確認期限までに更新講習の修了確認を受けなかった場合は、採用候補者名簿に登録されていても登録を抹消します。

チ ャ ッ ク 表

※次の各項目について、提出前にもう一度確認してください。

提出書類	チェック項目	チェック欄
受 験 願 書	受験区分欄は、該当するものについて適切に記入又は○を付けていますか。	
	自署欄は、氏名を自署し、記入年月日も記入していますか。	
	氏名のフリガナ欄は、氏名をカタカナで記入していますか。	
	特別選考出願者は、特別選考欄に記号を記入していますか。	
	年齢については、平成29年4月1日現在で記入していますか。	
	香川県高松会場での第1次試験の受験希望者は、第1次試験の会場欄に○を付けていますか。	
	平成29年3月中旬以降の連絡先を記入していますか。	
	教員免許状欄の校種等・種類・教科・区分を適切に記入していますか。	
	司書教諭資格の有無欄は、該当するものを一つ○で囲んでいますか。	
	学歴・職歴・賞罰欄は、日付順に漏れなく記入していますか。	
写真欄に写真を貼っていますか。		
受験登録カード	注意書き・記入例に従って適切に記入していますか。	
自己推薦書	校種・職種等欄は、該当するものを一つを○で囲んでいますか。	
受 験 票	52円分切手を貼っていますか。	
	校種等・教科（科目）・氏名を正しく記入していますか。	
	写真欄に写真を貼っていませんか。（出願時には写真を貼らず、受験票の交付を受けた後に、受験願書に貼った写真と同じものを貼ってください。）	
返信用封筒	402円分切手を貼り、「簡易書留」と朱書したワンタッチシール封筒（大きさは長形3号(120mm×235mm)）を同封していますか。	
特 別 選 考 他	特別選考出願者は、特別選考調書、証明書（写し）等の必要な書類を同封していますか。	
	身体に障害のある者を対象とした選考の出願者は、身体障害者手帳の写しを同封していますか。	

岡山県内会場案内図



会場	主な交通機関	実施試験
岡山県立岡山朝日高等学校 岡山市中区古京町2-2-21	J R 岡山駅前から岡電バス「岡電高屋」行「朝日高前」下車 徒歩約3分	第1次試験
岡山県立岡山操山高等学校 岡山市中区浜412	J R 山陽本線西川原駅から徒歩約15分	第1次試験
岡山県立岡山大安寺中等教育学校 岡山市北区北長瀬本町19-34	J R 山陽本線北長瀬駅から徒歩約5分 J R 吉備線大安寺駅から徒歩約20分	第1次試験
岡山県立西大寺高等学校 岡山市東区西大寺上2-1-17	J R 赤穂線西大寺駅から徒歩約8分	第1次試験
岡山県立岡山東商業高等学校 岡山市中区東山3-1-6	J R 岡山駅前から路面電車「東山」行 終点下車徒歩約7分	第1次試験
岡山県立岡山南高等学校 岡山市北区奥田2-4-7	J R 岡山駅前から岡電バス「労災病院」、「岡南飛行場行き」、「大東」 「中央市場」、「築港元町」行「岡南営業所」下車徒歩約5分	第2次試験
岡山県立岡山工業高等学校 岡山市北区伊福町4-3-92	J R 岡山駅西口から徒歩約20分	第2次試験
岡山県立東岡山工業高等学校 岡山市中区土田290-1	J R 山陽本線・赤穂線東岡山駅北口から徒歩約3分	第2次試験
岡山県立鳥城高等学校 岡山市北区伊島町3-1-1	J R 岡山駅西口から徒歩約30分 J R 岡山駅西口から岡電バス「津高営業所」、「京山」行「京山入口」 下車 徒歩約8分	第2次試験
岡山県生涯学習センター 岡山市北区伊島町3-1-1		

香川県高松会場案内図



会 場	主な交通機関	実施試験
<p>高松テルサ 香川県高松市屋島西町2366-1</p>	<p>J R 高松駅から琴電バス「屋島健康ランド」行「高松テルサ」下車</p>	<p>第1次試験 ※小学校教諭等、小学校教諭等(理数枠)、小学校教諭等(英語枠)、小学校教諭等(地域枠)、特別支援学校教諭等のみ</p>